

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援 タートル体力運動能力開発ラボ TURTLE KIDS SENDAI
------	---

公表日 令和 8 年 2 月 25 日

		チェック項目	評価		工夫している点	課題や改善すべき点
			はい	いいえ		
環境・ 体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		○	・基準は満たしているが、利用者の人数によっては運動をするスペースが狭く感じることがある。人数をグループ分けしながら交代でしたり、サーキットを組むなどして1カ所に集中しないように工夫している。	・利用者を他の日へ移動させるか、今後、土曜日を開所するなどして改善していく。床に10cmほどスポンジを敷いているため天井が低くなっている。建物の構造上、天井を上げることができないため、利用者の受け入れを低学年にとどめるか思案中。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	・体験の時に施設内を見ていただき建物の2Fにありエレベーターがないことを了承していただいている。トイレへ誘導するときは、必ず支援員が入口に立ち、男児と女児が重ならないようにしている。	・事業所が2Fにある為、足の悪い児童に対しての課題がある ・配慮が行き届いている箇所とそうでない箇所がある(トイレ・水道等)
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・活動の後は清掃・消毒・換気を徹底している	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・部屋が2カ所あるため空いている部屋を使って個別の対応はできるようにしている。また、パーテーションを用いて対応している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・職員会議や支援会議で意見交換を行い、朝礼の時にその日の利用児について共通の認識しているか再度確認を行っている。	・概ねできているが、全体で共通理解が出来ているかは曖昧
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・グループ会社主催の研修に年1回参加しているが、途中入職者への研修ができていなかった。また、動画配信でいつでもどこでも空き時間で出来るような研修を取り入れている。	・どれがどんな法人研修かわかっていない ・現場の人数配置や時間の都合によりほとんどできていない
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・支援会議等で情報共有し共通の認識で支援を行っているが、さらに最善の支援が出来るよう研修等を通して職員一人一人のスキルを上げていく。	・職員の共通理解が足りていない
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・支援会議等で情報共有し共通の認識で支援を行っているが、さらに最善の支援が出来るよう職員一人一人のスキルを上げていく。	・全体で理解できているかは曖昧
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			・HUG使用
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・1週間ごとに担当を決めて立案している。職員会議の時に活動の目的と内容を説明し、誰でもリーダーが出来るよう情報共有している。	・その日のリーダーを中心に立案しているが全体で話し合いの上での作成は出来ていない
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・児童の状況を見ながら適宜プログラムを調整し実施。また、季節のイベントを取り入れたり、月ごとに運動の種目を変えるなど固定化しないよう工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・集団行動を中心とし、その日の児童状況に合わせて来所後～全員が揃うお集まりまでの時間を個別活動として設けている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・その日の記録を書きながら振り返りを行うが、時間が足りないときは翌日の朝礼で報告し共有している。	・その日に振り返る事は毎日みんなで出来ないと思う ・記録をしながら振り返りはしているが改めて打ち合わせは実施出来ていない
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		・ガイドラインに基づいて活動内容を考えて支援を行っている。	・ガイドラインに基づいた支援が出来ているかは曖昧
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○				
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・幼稚園・保育園・学校とは送迎時や見学等で連携を取りやすいが医療関係とは連携を取りにくいため保護者をお願いして、リハビリの様子や検査等の結果を共有させていただいている。	・医療機関との連携は不十分
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		・会議等に参加して相談し助言をいただいている。また、センター主催の研修に積極的に参加しているが参加者できる職員が偏らないよう全職員が参加出来るように考慮していく。	・機会がない
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		・今年度から少しずつ取り入れて一緒に楽しめるように活動を考えている	・児童クラブとの交流は検討中 ・地域の他の子どもとの活動の計画/実施が出来ていない
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・ペアレントトレーニングの研修を受け、よりの確な支援が行えるようにしていく。		

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○			
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○			・投薬依頼書の記入/薬剤情報提供書のコピー等もらい管理が出来ていると思う。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			